

Tokyo Letter

精神障害者地域生活支援とうきょう会議

tokyo kaigi news letter



第17号

<http://tokyokaigi.web.fc2.com/>

Contents

地域ブロック報告 …P. 2

スポーツ企画部会からお知らせ …P. 5

支援センター部会活動報告 …P. 6

研修部会活動報告 …P. 12

運営委員会議事録 …P. 14

会員情報漏えいのご報告とお詫び …P. 16

会員の皆様へ 謝罪文 代表 小見山政男 …P. 19

編集後記 …P. 20



毒をもつて毒を制す

雅

広報部 編集・発行

事務局

〒168-0064 東京都杉並区永福 4-19-4 安藤ビル

すぎなみ151内

電話：03-3327-9225 FAX：03-6666-8560

e-mail :tokyokaigi@gmail.com

多摩ブロック活動報告

世話人会報告

2011年9月14日(水) 19:00～21:00

場所: わくわくⅡ

記録: リサイクルわかかさ 杉江

参加者: わくわくⅡ 吉田(途中退席) わくわく
東谷 グループホーム 梨里細江 ほっとスペース
八王子 筒井・堀部・中田 シェア宮脇 プラ
ザ鈴木(途中退席) 第2クッキングハウス 竹内
リサイクルわかかさ 杉江(敬称略)

初めに、わくわくⅡ内の見学・わくわく活動紹介、
参加者の自己紹介

1、 報告事項

とうきょう会議運営委員会報告。運営委員会
に出席された方多数の為、簡単な報告となつた。
会費納入について2年分未納の場合は自動退会
になるので会費を未納の場合はお支払くだ
さい。

2、 協議事項

■例会について

東谷氏・・・アウトリーチを学ぶ現状と課題・
アメリカと日本の障害者福祉制度の比較・バリ
アフリー教育の思想と実践・虐待問題等、提案
堀部氏・・・グループホームの実態調査を多摩
ブロックでできないかと提案。

杉江・・・例会開催については現在の運営委員
のマンパワーでは開催が難しい。

東谷氏・・・余分な能力を使わないで3名もい
れば開催可能。

例会開催について検討する予定でしたが、決め
ることができませんでした。

■その他

堀部氏より多摩ブロックメーリングリストに
ついて、複数の方で管理をし民主的なやり方を
希望される。

杉江より、メーリングリストは、都精作時代か
らのメーリングリストであり、どなたが参加さ
れているかなど不明な点も多くあることを説明。

【次回世話人会】

今後の世話人会は世話人欠席者の多数の為、予
定が立てられませんでした

中部ブロック活動報告

例会報告

実施日時：2011年9月13日（火）

18:00～20:30

場所：クローバー西新宿（貸し会議室）

901 会議室

内容：

「今日の中部総合精神保健福祉センターの取り組みと『アウトリーチ支援事業・短期宿泊事業』の実際」というテーマで中部センターから石黒先生をお招きし開催しました。

22名の参加があり、中部ブロックだけでなく、東部ブロックと多摩ブロックからの参加もありました。

事業実施の実際として、例会の場でしか聞くことのできない話を沢山お聞きすることが出来ました。参加者はそれぞれの各職場での事例に合わせて中部センターを活用するための理解を深めることができたと思います。

以上

（文責：丹菊敏貴）

東部ブロック活動報告

★定例会（研修会）

精神保健福祉センターの使い方

日時：平成23年8月30日

14:00～16:00

場所：豊島区民センター

テーマ：

「都立精神保健福祉センターの使い方」

○下谷精神保健福祉センターの概要

○アウトリーチ支援事業

○東京都退院促進支援事業

下谷精神保健福祉センターとは何を行う所なのかを丁寧に説明をしてくれ、困っている事が

あればどんな内容であれ連絡を下さいという凄く連携に協力的なセンターでした。また、センターからの要望として、行政も分からない事が沢山あるので、地域から情報提供をしていただくと助かるとの事なので、今回の研修で行政と地域お互いに情報共有を求めている事が分かり、今後の実践での繋がりに凄く良い影響が出た研修だと思えました。次回以降もふるってご参加のほど、よろしくお願いたします。

★仕事ミーティング

毎月1回、夕方6時半から8時までの時間帯、その時に参加できる人たちが集まって開催しています。ここには、仕事を探しているメンバーさんばかりではなく仕事を終えて駆けつけてきた方、就労を考えてみようという方、単に話したい方も、また家族やハローワークの相談員をはじめ、支援をしている側の関係者も一緒にいます。皆が自分の立場で聞きたいことや聞いてもらいたいことを交わす場です。

・仕事ミーティングの活動報告

場所：あせび会支援センター

9月21日（水）

テーマ：「就職活動はどうする2」

（台風の影響により延期）

10月19日（水）

テーマ：「就職活動はどうする2+」

★今後の予定

世話人会

日時：平成23年11月15日（火）

18:30～

場所：銀杏企画

今後の研修会を企画予定。

ホットな就労支援者と企業の集い♪IV

日時：平成23年10月29日（土）

14:00～17:00

場所：ランスタッド株式会社
テーマ：「障がい者雇用の未来」について考える
プログラム：

○第Ⅰ部：基調講演

『障害者を企業の戦力に導く戦略とは』

～雇用対象障がい者の見直しと特性理解～

講師 秦 政 氏（特定非営利活動法人

障がい者就業・雇用支援センター）

○第Ⅱ部：パネルディスカッション

『障がい者雇用のあり方』

コーディネーター 石井 雅也 氏

（就労移行支援事業所 FreeDesign）

パネリスト 企業の方・

就労支援機関の方・医療機関の方 等

【懇親会のご案内】

終了後は 18：00～懇親会も予定しておりますので、ぜひご参加ください！

※懇親会のみ参加も可能です（その際は、店舗等の詳細を別途ご案内いたします）

～申し込み方法～

FAX もしくはメール（tsubomi-edogawa@kss.biglobe.ne.jp）にて事前にお申し込みください

東部まつり2012

at 日立ソリューションズ

平成24年1月開催予定です。

そのための準備会を

9月14日（水）、11月14日（火）に行っています。

東部まつり 事業

当事者、家族、医療機関、行政機関等、“地域向け”に東部ブロックの日中活動系事業所（約50ヶ所）を掲載し、支援施設がどこにあつて、どのような活動（支援）をしているのかを写真を使用した、フルカラーで分かりやすいガイドブックの発行となりました。

より多くの地域の方々にご紹介し、ご活用いた

だくことで、精神障害者の方の地域生活がより一層向上できればという願いから作りました。もし、気になる事業所がありましたら、ぜひ一度、足を運んでみてください。多くの方々が本誌でつながることができれば幸いです。

東部まつり（定価 500 円）

購入のお問い合わせ先

東部ブロック事務局 銀杏企画（樋口）

〒113-0033 文京区本郷 5-25-8

電話：03-5684-0991



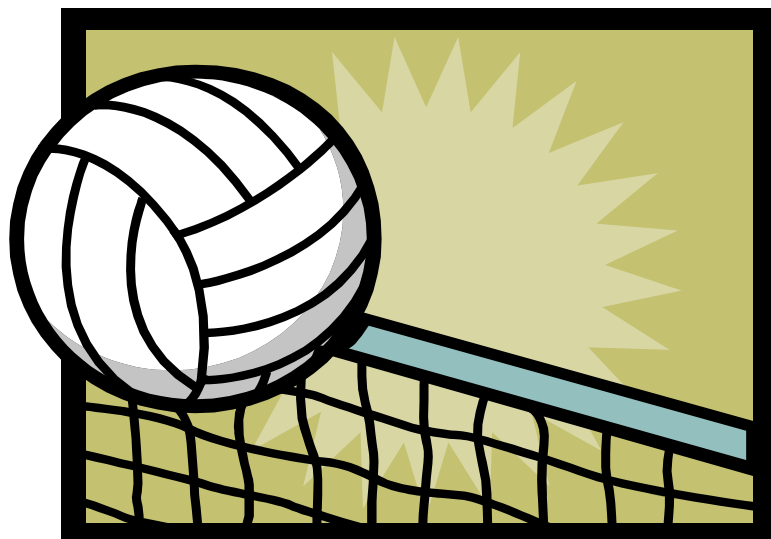
【スポーツ企画部】

第 28 回 東京都精神障害者スポーツ交流祭 バレーボール大会について

第 28 回 東京都精神障害者スポーツ交流祭バレーボール大会が **11 月 22 日 (火)** に千駄ヶ谷の**東京体育館**にて開催されます。今年の参加予定チームは全 59 チーム。全国大会での、競技ルールを主とした<競技部門>が 1 コートで 4 チーム。ネットの高さを 2 m として 6 から 8 人で試合を行う<交流部門>が 5 コートに分かれ 55 チームが熱戦を繰り広げます。

9 月 26 日 (月) にはキャプテン会議 (抽選会) も行われ、各チームの対戦相手や試合を行うコートが決まりました。全コートの対戦表が掲載されたパンフレットは既に各事業所へ発送されていると思います。注意事項等を含め大会前にはもう一度お読みください。

大会当日は 9 時 10 分より開場、**10 時から開会式**を行う予定です。(当日、ラインジャッジ担当者は 9 時 45 分に集まって頂きます。) 見学・応援される方も必ず室内履きと外履きの靴を入れておくビニール袋などをお持ちください。また、会場には観覧する席に余裕がありますので、当日大会に参加されない事業所の方もぜひ観覧・見学にいらしてください。



支援センター一部会活動報告

※ 旧東京都地域生活支援センター連絡会です。今回より報告を載せさせていただくことになりました。

部会の詳しい活動内容につきましては、別項の『とうきょう会議 支援センター部会 活動案内』をご参照ください。

○世話人会

日時：平成 23 年 7 月 21 日（木）18:30～21:45

会場：池田会館

参加者：21 名

1. 各 PT より報告

○退院促進 PT より

「2010 精神障害者地域生活支援センター実態調査（退院支援）」の分析を実施している。

○指定相談 PT より

「指定相談支援事業でサービス利用計画作成事例に関する調査」の結果分析中。

○調査研究 PT より

「2010 精神障害者地域生活支援センター実態調査」を分析。11 月の病地学会の発表に向け内容を検討中。

2. 研修係より

○中総研修について

7/8 に施設長研修を実施。40 名参加。グループワーク中心に自身の職場について振り返った。中堅職員への研修・2 日間ぐらいの研修にするという等の意見があった。

○多摩総研修について

2/16（木）・17（金）に佐藤光正氏を講師に招き、ケアマネ研修を実施予定。

○新人研修について

10/26（水）セサミ・11/30（水）リヒトにて行う予定。

3. とうきょう会議通常委員会総会報告

鈴木氏（プラザ）より総会報告がされる。また丹菊氏（とうきょう会議事務局）より、7/5 運営委員会報告がされる。

4. とうきょう会議調査部から調査協力依頼

近藤氏（とうきょう会議調査部会）より、地域生活支援事業の自治体調査依頼があり、センター部会事務局が中心となり調査協力する事となる。

5. 都精民協より

- ・道しるべ発刊。
- ・対都要望 10 項目について。
- ・政党ヒアリング実施について。

6. 東京の相談支援を考える会より

「相談支援の東京モデルを作る」を大目標に具体的に動き出せそうなものを挙げていく。

7. 避難者へのセンター部会名簿配布について

東京都に避難されている被災者の方の支援に、東京 P 協会でプロジェクトチーム立ち上げ、それに際し準備会が立ち上がった。本格的に準備会が始まり次第情報共有しながら、可能な限りセンター部会も協力する確認をする。

8. 新規加入センターの確認

地域活動支援センターふれあい（渋谷区）の部会加入を承認する。

○世話人会

日時：平成23年9月8日（木）18:40～21:45

会場：池田会館

参加者：22名

1. 各PTより報告

○退院促進PTより

分析結果の発表時期の目途を立てたい。

○指定相談PTより

9/22に開催し、分析を進める。

○調査研究PTより

病地学会に向け準備を進めている。

2. 研修係より

○新人研修について

例年より参加者が少ない。中堅・管理職向けの研修を求められている可能性を考えていく。

○退院促進支援事業（国事業）研修について

10/29（土）井の頭病院・12/2（金）AP西新宿にて開催。テーマは「つながりを育む」。定員50名。

○東京都被保護者退院促進支援事業研修について

11/4（月）開催。対象は生保CWや査察指導員、退院事業所など。ファシリテーター協力依頼がある予定。

○東京都相談支援従事者現任研修について

センター部会から企画検討委員会に4名参加。

3. 地域生活支援事業の自治体調査について

とうきょう会議調査部会より調査依頼の回答状況を確認。

4. 都精民協より

- ・障害者制度改革推進委員会の進捗状況報告
- ・東京都地域生活定着支援センター概要説明
- ・政党ヒアリングについて

- ・対都要望内容について報告。

5. 東京の相談支援を考える会より

センター部会の活動としての位置づけと会参加者の意識の課題、今後の方向性について意見を出し合う。

6. とうきょう会議におけるセンター部会情報共有について

とうきょう会議事務局の意向を、センター部会事務局が確認し、可能な限り協力していく。

7. 新規加入センターの確認

地域活動支援センターあさがお（台東区）の部会加入を承認する。

8. その他

○障害年金の医師の診断書書式改訂について

○来年度以降の相談支援事業所について

指定相談支援事業の契約が今年度で切れるが、来年度どう移行するか役所から問われている事業所が出てきた。今後、世話人会等で情報共有していく。

次回の世話人会は12月19日（月）18:30から

池田会館（高田馬場）にて行います。

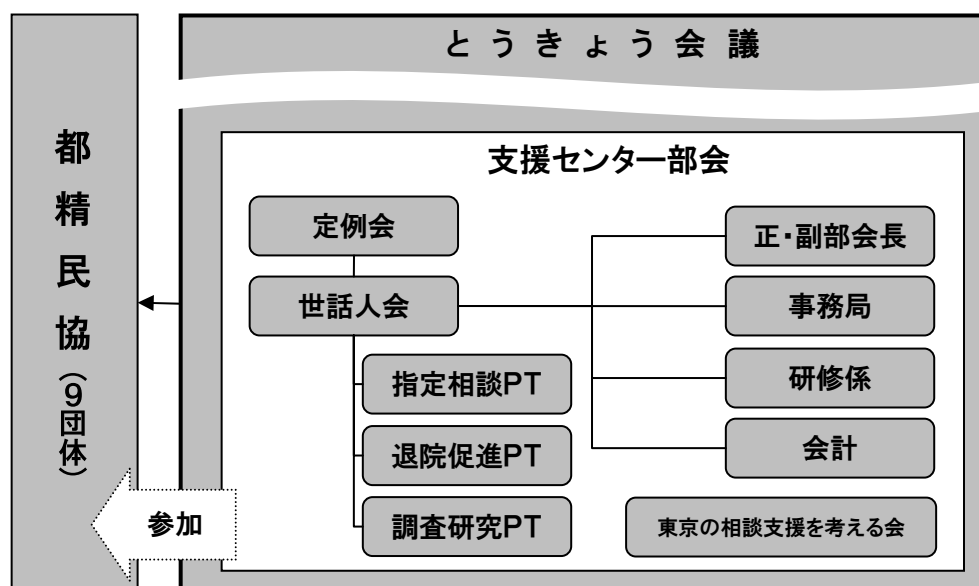
とうきょう会議 支援センター部会 活動案内

【活動方針】

とうきょう会議支援センター部会（以下、センター部会）は、東京都全域にわたるセンター部会のネットワークを活用し、研修の実施並びにプロジェクトチーム（以下、PT）の活動を軸にしながら、以下の3点に注目して活動しています。

- 1) 地域活動支援センターI型・相談支援事業所における相談支援機能を強化する
- 2) 東京都内の地域格差の存在を明らかにする
- 3) 地域ごとの特色や傾向を明らかにし、地域の特性を共有化していく

【組織図】



【活動内容】

I. とうきょう会議総会への参加

II. 定例会

内 容：部会活動の報告および、部会員全体での協議

開 催：年に2回程度実施（多摩総・中部総での研修後に行なっています）

III. 世話人会

内 容：部会の運営、研修企画などについて話し合い

開 催：月1回程度実施

その他：世話人会は「拡大」方式で、世話人でない方の参加も広くお待ちしております！

※ 情報の共有や交換のためのメーリングリスト（ML）の管理等も含め、上記会議の実施を事務局がサポートしています。

IV. 研修

内 容：研修係が中心に企画、実施しています。

- 1) 新人研修 年 2 回
- 2) 中部総合精神保健福祉センター、多摩総合精神保健福祉センターと企画協力、共同開催する研修（22 年度：就労支援研修、ケアマネ研修）年 2 回
- 3) 施設長研修 年 1 回
- 4) 各プロジェクトチームと企画協力、開催する研修

対 象：主に、センター部会に加入している、地域活動支援センター I 型、相談支援事業所の職員

開 催：随時

※ その他に東京都相談支援従事者初任者研修、同現任研修への協力や相談支援従事者養成研修への参加協力もしています。

V. プロジェクトチーム（PT）

※ 周知方法：世話人会議事録に記載、各PTのMLで周知（希望者）

参加の仕方：事前に問い合わせ窓口までご一報いただいても、当日直接会場に来ていただいても、どちらでも構いません。

1) 退院促進支援PT（退促PT）

事業利用者の地域移行及び地域定着において形成される本人を中心とした関係機関連携の在り方について整理しています（主に広域支援事例）。その他参加者のニーズによるものを取り扱います。

開 催：2ヶ月に1回程度

問い合わせ：関口（多摩市障がい者支援センターの一ま）TEL：042-311-2553

2) 指定相談支援PT（指定PT）

指定相談支援事業の活性化を図ります。また、地域特性に沿った相談支援の在り方を模索し、情報発信に用います。（稼働状況の調査等。活用事例の積み上げ。モデル書式の公開・活用。広報、情報発信。）

開 催：2ヶ月に1回程度

問い合わせ：奥澤（地域生活支援センタープラッツ）TEL:042-323-5637

3) 調査・研究PT（調査PT）

精神障害者地域生活支援センター実態調査を実施（2006，2008，2010）しています。都内支援センターの変遷を確認し、サービスや支援の向上のための参考資料となるよう、調査の結果を分析し、部会員へ報告します。

開 催：2ヶ月に1回程度 ただし調査前後は集中的に行います

問い合わせ：中居（プレス中目黒）TEL:03-3716-1464

※ その他、必要に応じてPTを立ち上げます。

VI. その他

1) 東京都精神障害者民間団体協議会（都精民協）への参加

都精民協は、東京つくし会、とうきょう会議、東京都障がい者就業支援事業所の会、ホーム連、東京都精神障害者団体連合会、東京都精神障害者授産施設連絡会、日本てんかん協会、TOKYO ボランティア NET、とうきょう会議支援センター部会の9 団体で構成されており、当部会からも運営委員会等に出席しています。

年2回のニュースレター発行、都民講演会の開催、都への要望書提出と懇談、ワーキンググループ（民営交通・医療の開催、不定期）、『道しるべ』の発行等の活動をしています。

開 催：運営委員会 2ヶ月に1 回

2) 東京の相談支援を考える会

“東京の相談支援“というテーマで様々な意見交換を行い、課題の共有や知る・学ぶ・考える機会としてだけでなく、そこから相談支援事業所として必要なソーシャルアクションを起こしていくことにもつなげていきます。センター部会会員で希望する者が参加し、部会外からの参加はその都度検討します。

開 催：2 か月に1 回程度実施

【部会への入会方法】

希望が挙がった直後の世話人会に出席のうえ、世話人会での検討・承認を経て入会です。

【問い合わせ先】

☆ 東大和市精神障害者地域生活支援センターウエルカム

TEL：042 - 564 - 0891 FAX：042 - 564 - 3680 担当：小泉

☆ 新宿区地域活動支援センターまど

TEL：03 - 3200 - 9376 FAX：03 - 3200 - 9345 担当：大橋

☆ センター一部会事務局 Email: jimukyoku-center@freeml.com

とうきょう会議 センター部会の目的

平成 22 年 2 月 13 日

東京都では、平成 9 年度に『精神障害者地域生活支援センター』が事業化され、最初の 2 つの支援センターがモデル事業として実施されました。平成 11 年の精神保健福祉法改正により、改めて社会復帰施設として法制化され、各市区への設置が進みつつあったのもつかの間、平成 16 年にグランドデザインが示され、その後障害者自立支援法が成立し、平成 18 年 9 月末日をもって『精神障害者地域生活支援センター』は法律上からその名称は消えました。

東京都地域生活支援センター連絡会（以下 センター連）では、めまぐるしく変わっていく法律・制度に翻弄されながらも、新法移行前からその後も継続して“地域生活支援センターに大事なこと・必要なことは何か”を考えてきました。

そして、センターを成す要素が 4 つの機能—『個別生活支援』『フリースペースにおける支援』『ネットワークを通じた支援』『プログラムを通じた支援』—であることを、これまでの過去の活動の積み重ねから検証し再確認しました。中でも、核になるのは『相談支援』機能であることも改めて確認したところです。『相談支援』の基盤には、鮮度の良い活きた『ネットワーク』は欠かせません。センター連は、活きたネットワークを維持・継続していきたいとこれまでも活動し、これからも活動していきたいと考えています。

とうきょう会議センター部会の目的

- ◎ 相談支援の強化
- ◎ ネットワークの維持・継続・発展
- 相談支援の質の担保の為にネットワークは必須。特に、“東京”という地域の特殊性から、相対的な位置を常に確認し、地域格差を意識することが大切である。
- 質の高い情報をより早く共有していくために、主体的に活動に参加していくことが必要
(=ネットワーク活動に“人”を出す)

また、支援の現場は様々な困難があり、孤独や狭い視野の中で、支援者の心が折れてしまうことも少なくありません。お互いの話を聴き、助け合い、高めあっていくこともセンター部会では大事にしていきます。

研修部会活動報告

<平成23年度総会第2部企画報告>

タイトル：東京都における退院促進支援
事業 ～実状と課題～

日 時：平成23年7月2日（土）
14：50～16：30

会 場：日本福祉教育専門学校

参加者：122名

内 容：

①東京都の精神保健医療福祉の
現状と退院促進支援事業の概要

講師：鈴木啓之（中部総合精神保健福祉センター）

②退院促進支援事業の成果と課題、そしてこれ
から取り組むべきこと

講師：石橋 彰（ATOM相談支援 事業）

<平成23年度第1回東京都精神障害者地域 移行促進強化事業専門研修報告>

タイトル：「つながり」を育む
～本人の声から始まる退院支援～

日 時：平成23年10月29日（土）
9：45～16：30

会 場：井之頭病院 大会議室

参加者：50名

内 容：第1部 講義「本人の声をどのように
聴くのか」

講師：佐藤 光正 氏

第2部 実践報告「本人はどう語り、支援者は
どう聴いたか」

報告者：福島ひとみ氏（青木病院）

鈴木卓郎氏（地域生活支援センタープラザ）

宮本めぐみ（地域生活支援センターMOTA）

聞き手：東 貴宏（地域生活支援センターリヒト）

第3部 グループディスカッション

<平成23年4月－10月会議>

平成23年4月5日

会 場：地域生活支援センターリヒト

参加者：13名

議 題：H22年度強化研修報告書作成・決算に
ついて

平成23年5月12日 19：00～21：30

会 場：地域生活支援センターリヒト

参加者：9名

議 題：H22年度活動報告、H23活動報告、
H23東京都退院促進強化研修について、H23年度
研修係体制について、
H23年度総会第2部企画について

平成23年6月2日 19：00～21：00

会 場：地域生活支援センターリヒト

参加者：14名

議 題：H23年度研修係体制について、
強化研修について、総会第2部企画について

平成23年6月27日 19：30～21：00

会 場：地域生活支援センターリヒト

参加者：13名

議 題：強化研修について、予算・決算について、
総会第2部企画について、
事例・事業例検討会について

平成23年7月13日 19：00～21：00

会 場：地域生活支援センターリヒト

参加者：14名

議 題：強化研修について

平成23年8月4日 19：00～21：00

会 場：地域生活支援センターリヒト

参加者：16名

議 題：強化研修#1検討委員会

平成23年8月8日 19：00～21：00

会 場：地域生活支援センターリヒト

参加者：11名

議 題：強化研修について

平成 23 年 8 月 23 日 19:00～21:00

会 場：地域生活支援センターリヒト

参加者：9名

議 題：強化研修について

平成 23 年 8 月 24 日 19:00～21:00

会 場：井之頭病院会議室

参加者：7名

議 題：事例・事業例検討会開催について

平成 23 年 9 月 5 日 19:00～21:30

会 場：JHC 大山

参加者：4名

議 題：事例・事業例検討会について

平成 23 年 9 月 7 日 19:00～21:00

会 場：地域生活支援センターリヒト

参加者：14名

議 題：強化研修 # 2 検討委員会

平成 23 年 9 月 14 日 19:00～21:00

会 場：地域生活支援センターリヒト

参加者：10名

議 題：強化研修について、事例・事業例検討会について

平成 23 年 10 月 3 日 19:00～21:00

会 場：地域生活支援センターリヒト

参加者：11名

議 題：強化研修について、事例・事業例検討会について

平成 23 年 10 月 17 日 19:00～21:00

会 場：地域生活支援センターリヒト

参加者：10名

議 題：強化研修について、事例・事業例検討

会について、あみからの協力依頼について（情報共有）

平成 23 年 10 月 18 日 19:00～22:00

会 場：情報センターあおば

参加者：8名

議 題：事例・事業例検討会について講師打ち合わせ

平成 23 年 10 月 21 日 19:30～21:30

会 場：JHC 大山

参加者：4名

議 題：事例・事業例検討会について

* その他強化研修講師・シンポジスト打ち合わせ等作業部会 4 回

お知らせ

<平成 23 年第 1 回事例・事業例検討会>

日 時：平成 23 年 11 月 21 日（月）

19:00 - 21:00

会 場：豊島区民センター 音楽室

タイトル：「グループホームに何ができるか
～住まいの場だからできる支援～」

今年 7 月に行われたとうきょう会議の総会において、東京都内のグループホームで起きた出来事について問題提起が行われました。今回とうきょう会議ではこのことを契機として改めて「グループホームに何ができるか」を考える事事検を開催します。

現場での実践報告を通して、東京での精神障害者の住まいの問題や住居提供だけにとどまらないグループホームでの生活支援のあり方、今後求められること等について様々な立場のパネリストが座談会形式で討議を行います（そのため、出来事そのものの検討会でないことはご了承の上、ご参加ください）。

東京の地域生活支援の様々な可能性について探ってみませんか。

（記：研修部会 西根 博貴）

とうきょう会議 運営委員会報告

運営委員会 2011 年度第 5 回

日時：2011 年 7 月 5 日（火）19:00～

会場：情報センターあおば（荻窪）16 名参加

1. 総会の振り返り

今年度の総議決権数は、408 個。総会出席は 97 個、委任状 186 個で出席計 283 個となり、出席率 69%で総会成立となった。

今年度は、会場の出席者から動議が出された。とうきょう会議に対して会員が直接意見をいう場として、総会という機会は重要なものであり、議案の決議という通常の議事進行のほかに、会員との意見交換の場を設けることが来年度以降もできるように運営していきたいとの方向性が確認された。

2. 東京都の公共交通機関に精神障害者専門員を配置するための、当事者の意識調査あるいは意見交換の機会の設置について

今年 3 月 11 日の震災の影響で交通機関が麻痺し、多くの帰宅困難者が発生したことを契機に、当事者が公共交通機関を利用する上で困ったことがあったのではないかという推測から、公共交通機関に精神疾患をもつ当事者への対応が適切にできるような専門員を配置すべきではないかという問題意識が都議会議員に生まれているようだ。

上記の件について、会員事業所を対象としたアンケート調査で情報を集め、集まったものを都議に伝えることを検討する。アンケートの内容は、調査部会が叩き台を作る。

3. 東京都からのアウトリーチ支援事業・短期入所事業の説明会の企画について

今年度 4 月から、都内の 3 つの精神保健福祉センターで開始された東京都のアウトリーチ支

援事業・短期入所事業について、説明の機会を設けてほしいとの打診が精神保健福祉センターからあった。このテーマについて、とうきょう会議では各ブロックで取り組みを行うこととし、説明会・学習会等の開催にあたっては会員に情報提供することとした。

運営委員会 2011 年度第 6 回

日時：2011 年 8 月 9 日（火）19:00～

会場：情報センターあおば（荻窪）15 名参加

1. 平成 23 年度通常総会における会員意見「障害者自立支援法の事業制度導入が困難な事業所について「とうきょう会議」の行政への対応」について。

上記の件について、とうきょう会議として今年度中に東京都に対して要望書を出す方針とする。要望書をまとめるにあたっては、まず実態の把握をし、個別給付の導入をしていない事業所の実情については事業所から情報を収集する必要があるため、調査部会で会員事業所を対象とした調査をまず行うこととする。

2. 平成 23 年度通常総会における会員意見「虐待防止法に病院が対象外となっていることへの「とうきょう会議」の対応」について

まず、「虐待防止法」についての問題整理をするために、勉強会を開く必要があるのではないか。研修部会で今年度の研修企画として、このテーマを取り上げることとする。その際、ステップアップ合同研修の枠で実施する方向で調整を図ることとする。

3. 平成 23 年度通常総会における会員意見「「とうきょう会議」事務局業務を会員事業所に委託すること」について

とうきょう会議の事務局業務は、現時点でまだ定型化・定期化されていない部分が多い。外部委託を行う前に、まず事務局で一元的に行ったほうがよい業務と、外部委託できる業務との整理が必要である。また、現時点で広報・会計等に分担できている業務もあり、すぐに外部委託は考えにくい。今後新たに業務量が増える等、外部委託の必要性がでてくれば、改めて検討することとする。

4. 平成23年度通常会員総会における会員意見「グループホームに関する研修を具体的に活動の中で実施すること」について

このテーマについては、共同ホーム連絡会と何らかのかたちで連携して開催できることが望ましいと考える。とうきょう会議は、現在は通所系事業所の会員が多く、ホームがどのような成り立ちなのか、現在どのような位置づけで運営されているのかを知ることから始める必要がある。研修部会が企画検討と共同ホーム連絡会との調整を行う。

5. 都内施設一覧のネット上での路線マップの作成について

とうきょう会議のホームページを立ち上げたとき、事業所の路線マップを作ろうということでやりかけたことがあり、そのままになっていた。運営委員の中で半田氏が担当となり、以前に路線マップの試作をしてくれた中村好孝氏さんと相談して試作版を作成してみることにする。

における小見山代表の発言について、小見山代表宛の「抗議文」の提出が上記会員より行われた。趣旨は、小見山代表の発言への抗議と謝罪の要求、謝罪文ならびに抗議文を『Tokyo Letter』に掲載すること、謝罪した上で、代表を辞任すべきとのこと。抗議書については運営委員会で内容を検討し、要求されている謝罪及び辞任について別途運営委員会で検討の機会を設けることとした。

運営委員会 2011 年度第 8 回

日時：2011 年 9 月 26 日（月）19:00～

会場：すぎなみ 1 5 1（西永福）22 名参加

1. ほっとスペース八王子およびわくわく東谷氏からの要望について

ほっとスペース八王子とわくわく東谷氏は、エルブとの話し合いの場を設け、その内容を「中間報告」というかたちで文章にまとめ、運営委員会に持参した。この中間報告を『Tokyo Letter』に載せてほしいとの要望があった。取り扱いに関しては、プライバシーに配慮した内容に改めてもらった上で、運営委員会にて確認の上、『Tokyo Letter』に掲載するかどうかの判断を行うこととする。

また、前回提出された小見山代表に対する抗議文と謝罪の要求については、『Tokyo Letter』に掲載する方向で検討することとなった。

以上

運営委員会 2011 年度第 7 回

日時：2011 年 9 月 1 日（月）19:30～

会場：すぎなみ 1 5 1（西永福）18 名参加

1. ほっとスペース八王子およびわくわく東谷氏からの抗議文提出について

7 月 2 日に行われたとうきょう会議通常総会

2011年10月28日

精神障害者地域生活支援とうきょう会議
会員各位

精神障害者地域生活支援とうきょう会議
事務局長 丹菊 敏貴

【重要】会員情報漏えいのご報告とお詫び

1. 【経緯報告】

当会の会報「Tokyo Letter」の印刷・製本・発送業務は、東京都精神障害者共同作業所連絡会（都精作連）の頃から委託先となっていた会員事業所「ほっとスペース八王子」をお願いしてまいりました。

2011年9月26日の夜、会員より「ほっとスペース八王子」のホーム・ページに掲載されている「ほっとスペース八王子」の会報「ほっと」137号のpdf版の21頁から22頁にかけて、当会運営委員の勤務先住所ならびに電話番号が掲載され、そのうち個人会員登録の際に自宅の住所・電話番号で登録されている運営委員については、自宅の住所・電話番号が掲載されているとの苦情をいただきました。

同日当会では「ほっとスペース八王子」のホーム・ページを確認し、当該会報が2011年9月21日から掲載されている事実を確認いたしました。また、掲載された名称・氏名ならびに電話番号の一部に誤りがあることも判明しました。

運営委員と協議し、2011年9月29日に「ほっとスペース八王子」に対し、会報「ほっと」137号に掲載されている個人情報の削除と、「ほっとスペース八王子」が保有する当会会員情報の廃棄を要請しました。（添付資料の通り。）

しかし、「ほっとスペース八王子」から当会に対して何等連絡がなかったため、2011年10月5日に当会から電話で問合せをしましたが、責任者が不在で状況の確認ができませんでした。

翌2011年10月6日昼頃、再度当会から電話で問合せをしたところ、2011年10月4日に開催された「ほっとスペース八王子」の運営委員会において、10月6日から「ほっと」137号の当該個所を黒塗りすることが決まったとの説明がありました。

同日13:59に更新された「ほっとスペース八王子」を確認したところ、当該個所が黒塗りになっているものに差替わっていることを確認しました。

「ほっとスペース八王子」からは、当該原稿は投稿文章であるという説明がありました。当会からは、「ほっとスペース八王子」に対し、投稿者が誰なのか、業務目的で保有している会員情報がどのように投稿者に漏洩したのかについて説明を求めましたが、これらの情報は明かせないとの回答がありました。

当会からの要請のうち、会報「ほっと」137号の当該個所の削除については確認ができました。当会としましては、引き続き「ほっとスペース八王子」が保有する当会の会員情報の廃棄処理状況について今後とも確認作業を進めてゆきます。

当会では、2011年6月1日まで当会の印刷物発送業務用の宛先情報はExcelデータで「ほっとスペース八王子」に対して供給していました。「ほっと」137号に掲載された個人情報の内容から、その時点までに「ほっとスペース八王子」に供給した会員情報であることが推測されます。2011年6月1日を最後に、当会の印刷物発送に当たっては、事務局で宛名ラベルを印刷したものを発送業務毎に郵送で「ほっとスペース八王子」に供給するようにしていました。

2. 【お詫びとお願い】

この度、このような事態を招き会員の皆様には多大な不安とご迷惑をおかけする結果となりましたことを深くお詫び申し上げます。

この度の個人情報の漏洩は運営委員についてのみ明らかとなりましたが、「ほっとスペース八王子が」誰に対してどのような会員情報を漏洩したのか分かっておりません。2011年9月21日以降、会員の皆様の中で会員情報の漏洩や、漏洩による被害がありましたら当会事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

3. 【対応】

当会の運営委員会では、この度の事件を受け、以下の対応をすることになりました。

(1) 当会の印刷物の印刷・製本・発送業務は「ほっとスペース八王子」には依頼しない。

(2) 規約に基づき、会員総会において「ほっとスペース八王子」の会員除名処分について議案とすることを検討する。

(3) 当会の印刷物の印刷・製本・発送業務は、新しい業務委託先が決まるまで、暫定的に当会広報部員の所属事業所「Navio けやき」に依頼する。

4. 【皆様からのご意見・ご指摘・苦情・お問合せ先】

本件につきまして、会員の皆様からのご意見・ご指摘・苦情・お問合せにつきましては、以下の当会事務局長までお寄せいただけますようお願いいたします。

精神障害者地域生活支援とうきょう会議

事務局長 丹菊 敏貴

〒168-0064

東京都杉並区永福 4-19-4 安藤ビル

Tel.: 03-3327-9225 (すぎなみ151内)

Fax: 03-6666-8560 (すぎなみ151内)

E-mail: tokyokaigi@gmail.com

以上



貴団体会報「ほっと」137号による当会個人情報漏洩問題

2件のメッセージ

kaigi tokyo <tokyokaigi@gmail.com>

2011年9月29日13:03

To: cxb01672@nifty.ne.jp

Cc: tokyokaigi-admin@freeml.com

〒192-0053

東京都八王子市八幡町13-2

ふくしまやビル2F

ほっとスペース八王子

代表 筒井 健太 様

貴団体が発行している会報「ほっと」137号の21頁から22頁に、当会「精神障害者地域生活支援とうきょう会議」の会員情報が掲載されており、その中に個人情報も含まれているとの苦情が平成23年9月26日付で会員より寄せられました。

当会で貴団体のホームページを確認したところ、会報「ほっと」137号が掲載・公開されており、その21頁から22頁にかけて会員の個人情報が掲載されていることを確認しました。

また、掲載されている事業所情報に誤りがあるとの指摘を会員より受けております。誤った事業所情報を元に連絡がされると、無関係な方々に多大なる迷惑がかかることが懸念されます。

特に、会員の個人情報が掲載されていることについて、貴誌には「一人が連絡先が自宅しか分からないため、公平を期すためである。単なる連絡先以外の他意はない。」と説明が書かれていますが、連絡先として個人情報を本人の許諾なく掲載すること自体が問題です。

また、今回の貴団体が漏洩した個人情報は、当会が貴団体に当会の会報その他印刷物の発送業務をお願いする目的でお渡しした会員情報から、貴団体が目的外で使用・漏洩したものと判断しました。

当会の業務上の情報から個人情報が漏洩したことから、当会として以下の対策を至急講じるよう強く要請します。

本件についての法的対応については別途当会内で協議の上対応いたしますので予めご承知おきください。

【要請事項】

1 紙媒体で発行された会報「ほっと」137号を全て大至急回収し、当該頁(21頁および22頁)をシュレッダーにより廃棄処分をすること。

この作業にあたっては、紙媒体での発行部数と回収部数を当会に報告し、廃棄処分した21頁および22頁以外を保管すること。

また、シュレッダーによる廃棄処分の全行程を動画収録しDVDに保存の上当会に提出すること。

2 貴団体がホームページに掲載している会報「ほっと」137号のpdf版を、会員の個人住所削除と事業所住所及び電話番号の訂正をした版ができるまで全てのWebサーバーから削除すること。

3 電磁媒体で保存されている全ての訂正前原稿を削除すること。

4 紙媒体で保存されている訂正前原稿の当該頁(21頁および22頁)をシュレッダーにより廃棄処分すること。

この作業にあたっては、紙媒体で保存されている原稿数と廃棄数を当会に報告し、廃棄処分した21頁および22頁以外を保管すること。

また、シュレッダーによる廃棄処分の全行程を動画収録しDVDに保存の上当会に提出すること。

5 ほっとスペース八王子が保存している「とうきょう会議」会員情報の電磁媒体の記録を削除し紙媒体の記録をシュレッダーにより廃棄すること。

この作業にあたっては、シュレッダーによる廃棄処分の全行程を動画収録しDVDに保存の上当会に提出すること。

6 上記各項目の進捗状況(実施状況)について、当会事務局宛てにE-mailで遅滞なく経過報告をすること。

以上

精神障害者地域生活支援とうきょう会議

事務局長 丹菊敏貴

〒168-0064

東京都杉並区永福4-19-4 安藤ビル2-C

Tel.: 03-3327-9225(すぎなみ151内)

Fax: 03-6666-8560(すぎなみ151内)

E-mail: tokyokaigi@gmail.com

会員の皆様へ

「謝罪文」

平成 23 年 7 月 2 日に開催した平成 23 年度通常総会において、東谷幸政様のご発言に対し行った私の発言の中に、意図に反し、東谷幸政様の名誉を総会に参加されていた会員の皆様の前で著しく傷つけることになった点、ならびに人の生死に関わることについて誠に配慮に欠ける点がありました。

これらの点につき、別紙の 2011 年 9 月 1 日付の「抗議書」を東谷幸政様から頂戴し、また総会の後、他の会員の方々からもご指摘・ご助言をいただいていたところでございます。

運営委員とも協議をし、本紙 Tokyo Letter の紙面をお借りし、ご本人を含め会員の皆様に対し心より謝罪申し上げます。

通常総会において皆様にご承認いただいた運営委員共々、至らない点は多々あるかとは思いますが、今年度の活動計画に沿って会員同士が支え合える会となるよう、またそうした当会の活動を通して当事者の皆様の生活がより良いものとなるよう、今後とも活動を行ってゆく所存です。

今後とも引続き皆様のご理解とご協力を賜れるようお願い申し上げます。

2011 年 10 月 28 日

精神障害者地域生活支援とうきょう会議

代表 小見山 政男

編集後記

育てるのは不得意です。動物も植物も人も。だいたい面倒くさがりで、熱しやすく冷めやすい。私にかかればサボテンすら一生懸命水をやりすぎて腐らせるか、そのうち忘れて枯らす。そんな私が、最近はいい感じで植物を育てています。昨年、しいたけ栽培キットで育てたきのこを食べたのを皮切りに、アボカドの種は水栽培でちゃんと木にしました。そして最後の挑戦は春咲の球根たちです。やっぱり露地栽培。地球の力を借りれば、私でもちゃんと栽培ってやつができるのですねえ。感慨深いなあ・・・。

日の出町ユートピアひまわりホーム 森谷

施設の旅行で長野に行ってきました。長野市内の福祉施設を見学させて頂き、木をふんだんに使って広々とした施設は素晴らしいの一言。説明して下さった方は話の端々で『狭くて・・・』を連発。住んでいる場所でこんなにも感覚が違うのかと驚きました。豊かさの尺度はいろいろだと思いますが、施設に庭があって窓からは緑が見える・・・中央区にあるウチの施設からするとホント羨ましい。

リバーサイドつつじ 小野

先日、ウエイトレスもコックもと従業員が皆、中国人である中華料理店に入って天津飯を頼んだ時のこと。張り紙のメニューにテンツウハンとルビがされていたので、恥をかかせたらいけないと思い、「てんつうはん下さい」と言ったら、ウエイトレスから「てんしんはんですね」とわざわざ訂正されたうえ、厨房でコック達と中国語でなにか言いながら、「てんつうはん・てんつうはん」と何度も繰り返しながら、げらげら笑っていました・・・。

(こういうことも原因で日中関係がギクシャクしたりするのかしら?・・・んな訳ないか)

ゆい企画 小宮山

現在取り組んでいる課題は、男性更年期障害、脳梗塞悪化予防、高脂血症、メタボリック症候群対策(つまりダイエット)、そして頭髪の衰退。どれもこれもすぐに対応すればなんとかなる?ならないのがありますが、とりあえずダイエットだけは進捗しています。それぞれ医療機関が違うので(頭髪除く)3か所に通っています。時々情けなくなりますが、挫折しないでがんばります。

Navio けやき 鈴木